

【日本歴史ポイント総まとめ】

【歴史に出やすい魅力的な観光地】

《京都市近郊・奈良市・鎌倉市、東京以外》

- 大仙古墳：世界遺産の「百舌鳥・古市古墳群」に属する日本最大の古墳。
- 宇佐神宮：大分県国東半島の宇佐市。全国に4万社余りある八幡様の総本宮。769年の宇佐八幡宮神託事件は有名。
- 太宰府天満宮：福岡県太宰府市。901年に左遷された菅原道真公を祀る。「天神縁起絵巻」がある。
- 観心寺：大阪府河内長野市。高野山真言宗。金堂は折衷様。本尊の如意輪観音像は弘仁貞観文化。
- 高野山金剛峯寺：和歌山県。真言密教の開祖空海が嵯峨天皇よりこの地を賜った平安時代の初期以来、真言密教の聖地。
- 室生寺五重塔：室生寺は奈良県宇陀市にある真言宗室生寺派大本山。女人高野。五重塔は国宝で、高さは16m強。
- 厳島神社：広島県廿日市市の宮島にある。後白河法皇・高倉天皇・建礼門院ら多くの皇族・貴族が参拝。社殿は寝殿造り。後には毛利元就、豊臣秀吉にも庇護された。現在、厳島神社では「舞楽」と呼ばれる神事が高舞台上で催される。世界文化遺産。
- 白杵摩崖仏：大分県白杵市にある61体の石仏。院政期の文化に属する。国宝。
- 三徳山三仏寺投入堂：三仏寺は鳥取県三朝町。投入堂は崖の窪みに建てられた独特な建築物で国宝。
- 中尊寺金色堂：岩手県平泉町。世界遺産。奥州藤原三代のミイラが安置されている。
- 永平寺：福井県永平寺町にある曹洞宗大本山。
- 犬山城：現存する日本最古の三重四階地下二階の木造天守。愛知県犬山市にある唐破風と入母屋破風の特徴を持つ平山城。
- 松本城：天守が国宝指定されている五城の一つ。現存する五重六階の天守の中で日本最古の国宝。
- 松江城：現存天守十二城の一つ。天守閣は国宝。
- 都久夫須麻神社：滋賀県琵琶湖の竹生島。「伏見城」の遺構と言われる。
- 姫路城：現存天守一二城の一つで池田輝政によって築城された平山城で「白鷺城」とも呼ばれる。天守閣は国宝。
- 瑞巖寺：宮城県松島町にある、臨済宗妙心派に属する禅宗寺院。伊達家の菩提寺。
- 日光東照宮：徳川家光が造った家康を祀るための「権現造」の代表的な建造物で世界遺産。
- 大猷院：世界遺産である日光山輪王寺の一部であり、徳川家光の廟所である。
- 兼六園：日本三名園の一つで石川県金沢市。
- 大浦天主堂：長崎市にあるカトリックの教会堂。日本に現存するキリスト教建築物としては最古。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として、世界遺産。
- グラバー園：イギリスの武器商人グラバーが住んでいた「旧グラバー邸」などの9つのハイカラでエキゾチックな洋館が、長崎の街を見下ろす丘の上に立ち並ぶ。世界遺産。
- 富岡製糸場（群馬県）（世界遺産）：富岡製糸場の他に、二つの養蚕学校と蚕卵保管庫を構成資産として「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産。
- 札幌農学校：北海道開拓の指導者を創り上げるための訓練校として、1876年に開校。クラーク博士の提言を踏まえて、兵式訓練や入学式、卒業式を行うための演武場〔中央講堂〕が建設された。演武場は、現在では一般に「札幌時計台」と呼ばれる。
- 崎津教会：熊本県天草市にある教会。その特徴はゴシック様式の設計で高い尖塔を持ち、内部の床は畳敷き。世界遺産。

《京都市とその近郊の重要建築物など》

- 清水寺：坂上田村麻呂が尽力し、音羽山の中腹に懸造で創建された。
- 伏見稲荷大社：千本鳥居が大人気の観光地。
- 比叡山延暦寺：最澄の伝えた天台密教の総本山。世界遺産。
- 三井寺：滋賀県大津市にある天台寺門派総本山。園城寺ともいう。
- 教王護国寺（東寺）：真言宗の根本道場。
- 仁和寺：開基は宇多天皇。遅咲きの御室桜で有名。
- 平等院鳳凰堂：現在の宇治市に藤原頼通が作った阿弥陀堂。
- 京都御所：鎌倉幕府が擁立した光厳天皇が1331年内裏として以降、明治天皇の東京行幸に至るまで約550年にわたって使用され続けた内裏。「紫宸殿」「清涼殿」などがある。
- 鹿苑寺（金閣寺）：室町幕府三代將軍足利義満が京都北山に建てた。金閣の三階は舍利殿。世界遺産。
- 天龍寺：臨済宗京都五山第一位。創建足利尊氏、開山夢窓疎石。世界遺産。
- 西芳寺：通称苔寺の臨済宗寺院。夢窓疎石が作った池泉回遊式庭園は北山文化の代表。世界遺産。
- 慈照寺（銀閣寺）：室町幕府八代將軍足利義政が京都東山に建てた。東求堂同仁斎は書院造りの代表。世界遺産。
- 龍安寺：石庭は東山文化を代表する枯山水。世界遺産。
- 大徳寺：大仙院石庭は東山文化を代表する枯山水。大仙院花鳥図は狩野元信の代表作。
- 蓮華王院本堂（和様、京都市）
- 妙喜庵の待庵（京都府大山崎町）
- 西本願寺書院・唐門（京都市、伏見城遺構）
- 修学院離宮（京都市、数寄屋造）

《奈良市と斑鳩町の重要建築物》

- 法隆寺：斑鳩町にあり、金堂・五重塔は現存する世界最古の木造建築物。100を超える国宝がある。法起寺の三重塔と共に世界遺産。

- 中宮寺：法隆寺の東側に並ぶ。聖徳太子が母の宮跡を寺にしたと言われる。
- 薬師寺：天武天皇が皇后（後の持統天皇）の病氣平癒のために建立。世界遺産。
- 東大寺：華嚴宗大本山。本尊は盧舎那大仏。世界遺産。大仏殿は世界最大の木造建築物。
- 興福寺：藤原氏の氏寺で法相宗大本山。世界遺産。
- 唐招提寺：鑑真が建てた律宗の総本山。世界遺産。
- 東大寺南大門：大仏様〔天竺様〕の代表。

《東京の名所》

- 小石川後楽園：東京都文京区。江戸時代初期に水戸徳川家の江戸上屋敷に造られた築山池泉回遊式の庭園。特別史跡・特別名勝。
- 六義園：徳川五代将軍・徳川綱吉の側用人・柳沢吉保が、自らの下屋敷として造営した大名庭園。枝垂桜の最盛期と紅葉の最盛期にはライトアップもされる。
- 浜離宮恩賜公園：東京湾から海水を取り入れ潮の干満で景色の変化を楽しむ、中央区にある。特別史跡・特別名勝。潮入りの池と中島の御茶屋は有名で秋の紅葉は美しい。
- ニコライ堂：東京都千代田区神田駿河台、コンドル設計。
- 迎賓館赤坂離宮：東京都港区元赤坂、片山東熊設計。1979 年、1986 年、1993 年と三度東京サミットの会場になった。
- 皇居：東京都千代田区。江戸城跡に作られた。皇居外苑、二重橋、皇居東御苑では大手門、天守台、富士見櫓、二の丸庭園、梅林坂、菖蒲田など、見どころが多い。
- 明治神宮：東京都渋谷区代々木。拝殿（神木、夫婦楠）、大鳥居（第二鳥居）、南神門（楼門）、花菖蒲が美しい御苑などが見どころ。
- 東京駅：1914 年 12 月、コンドルの弟子である辰野金吾の設計で東海道本線の起点として開業。

《鎌倉の名所》

- 建長寺：鎌倉五山第一位。創建は北条時頼、開山は蘭溪道隆。
- 円覚寺舍利殿：鎌倉で唯一の国宝建築物。唐様〔禅宗様〕の代表。円覚寺は鎌倉五山第二位であり、北条時宗が創建、開山は無学祖元である。
- 鶴岡八幡宮：神奈川県鎌倉市。源頼朝がそれまでの由比若宮を現在の場所に移して鶴岡八幡宮新宮若宮としたのが始まり。

【写真問題の重要仏像・絵巻物など】

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| ■法隆寺金堂釈迦三尊像（飛鳥文化、奈良県） | ■法隆寺夢殿救世観音像（飛鳥文化、奈良県） |
| ■広隆寺半跏思惟像（飛鳥文化、京都市） | ■中宮寺半跏思惟像（飛鳥文化、奈良県） |
| ■薬師寺金堂薬師三尊像（白鳳文化、奈良市） | ■法隆寺金堂壁画（白鳳文化、奈良県斑鳩町） |
| ■東大寺法華堂不空罽索観音像（天平文化、乾漆像、奈良市） | ■興福寺阿修羅像（天平文化、乾漆像、奈良市） |
| ■東大寺法華堂執金剛神像（天平文化、塑像、奈良市） | ■正倉院鳥毛立女屏風（天平文化、奈良市） |
| ■室生寺弥勒堂釈迦如来像（弘仁・貞観文化、奈良県） | ■薬師寺僧形八幡神像（弘仁・貞観文化、奈良市、神仏習合） |
| ■教王護国寺両界曼荼羅（弘仁・貞観文化、京都市） | ■園城寺不動明王像〔黄不動〕（弘仁・貞観文化、滋賀県大津市） |
| ■観心寺如意輪観音像（弘仁・貞観文化、大阪府） | ■高野山聖衆来迎図（国風文化、和歌山県） |
| ■伴大納言絵巻（院政期の文化） | ■鳥獣戯画（院政期の文化） |
| ■平家納経（院政期の文化、厳島神社、広島県） | ■北野天神縁起絵巻（鎌倉文化、京都北野天満宮） |
| ■蒙古襲来絵詞（鎌倉文化、竹崎季長） | ■興福寺天灯鬼・龍灯鬼像（鎌倉文化、康弁作、奈良市） |
| ■東大寺南大門金剛力士像（鎌倉文化、運慶、快慶などの作、奈良市） | |

【写真問題の作者と作品】

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ■鞍作鳥：法隆寺金堂釈迦三尊像（飛鳥文化、奈良県斑鳩町） | ■定朝：平等院鳳凰堂阿弥陀如来像（国風文化、京都府宇治市） |
| ■運慶・快慶：東大寺南大門金剛力士像（鎌倉文化） | ■雪舟：四季山水図巻、秋冬山水図（東山文化） |
| ■狩野元信：大徳寺大仙院花鳥図（東山文化） | ■狩野永徳：唐獅子図屏風（桃山文化） |
| ■俵屋宗達：風神雷神図屏風（寛永期の文化） | ■本阿弥光悦：船橋蒔絵硯箱（寛永期の文化） |

※以下は全て元禄文化に属する。

- 菱川師宣：見返り美人図

以下は全て化政文化に属する。

- 鈴木春信：弾琴美人
- 東洲斎写楽：市川蝦蔵
- 渡辺華山：鷹見泉石像
- 円山応挙：雪松図屏風

【写真問題以外の重要な作者と作品】

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ■太安万侶：古事記（天平文化） | ■舎人親王：日本書紀（天平文化） |
| ■源信：往生要集（国風文化） | ■紀貫之：土佐日記、古今和歌集（国風文化） |
| ■慈円：愚管抄（鎌倉文化） | ■北畠親房：神皇正統記（南北朝文化） |

■宗祇：新撰菟玖波集（東山文化）

以下は全て化政文化に属する。

■曲亭馬琴：南総里見八犬伝

■山東京伝：仕懸文庫

■為永春水：春色梅児誉美

■本居宣長：古事記伝

■稲村三伯：ハルマ和解

【重要会議・条約など】

■日米和親条約（神奈川条約）（1854 年）

■樺太・千島交換条約（1875 年）

■下関条約調印（1895 年）：日清戦争の後始末。

■ポーツマス条約（1905 年）：日露戦争の後始末。

■日米新通商航海条約（1911 年）：外務大臣小村寿太郎、関税自主権回復。

■パリ会議：1919 年、ヴェルサイユ条約が締結された。日本側全権西園寺公望。

■ワシントン会議：1921 年の 4 ヶ国条約で、日英同盟破棄。

1922 年の海軍軍縮条約で米英日仏伊の主力艦保有比 5・5・3・1.67・1.67

1922 年の 9 ヶ国条約で山東省の旧ドイツ権益を返還。

■ロンドン海軍軍縮条約（1930 年）

英米日間の補助艦の保有比を 10・10・6.97 に決定→統帥権干犯問題

■ポツダム宣言受諾（鈴木貫太郎内閣、1945 年）

■サンフランシスコ平和条約（1951 年、吉田茂内閣）：太平洋戦争の後始末のための平和条約であり、単独講和によって調印された。日本は国際社会に正式に復帰した。

■日米安保条約（吉田茂内閣、1951 年）：米軍の日本駐留、侵略や内乱時の出動が取り決められた。

■日ソ共同宣言（鳩山一郎内閣、1956 年）：これにより日ソの国交が回復し、関係も正常化した。北方領土問題は先送りにされた。同年の国際連合加盟につながっていった。

■日米共同宣言（佐藤栄作内閣、1969 年）：安全保障条約の自動延長を条件に沖縄返還が約束された。これにより、1971 年に「沖縄返還協定」が締結され、1972 年に「沖縄の本土復帰」になった。

■日中共同声明（田中角栄内閣、1972 年）：日本は中華人民共和国を承認し、中華民国と断交した。

■日中平和友好条約（福田赳夫内閣、1978 年）：これによって中国と日本の国交が正式に回復した。日本側全権は園田直、中国側は黄華。華国鋒が立ち会った。

【重要人物】

■聖武天皇：仏教を深く信仰し、国分寺を作り、東大寺大仏を鑄造。皇后は光明子。天平文化の中心人物。遺品は正倉院に遺宝として収蔵されている。

■嵯峨天皇：桓武天皇の皇子。蔵人所、檢非違使を設置。三筆の一人で同じ三筆の空海の真言宗を援助した。

■藤原頼通：宇治に平等院鳳凰堂を建てて、宇治閑白と言われた。父道長と共に、摂関政治の最盛期を現出した。

■後鳥羽上皇：討幕を企てて承久の乱を起こしたが、敗れて隠岐に配流された。歌人としては優れ、「新古今和歌集」を撰上させた。

■北条義時：二代執権で、政所の別当、侍所の別当を兼務し、執権政治の土台を築いた。承久の乱では鎌倉幕府を結束して、後鳥羽上皇方を破った。

■北条時宗：元寇時の執権。文永の役の時は鎌倉御家人は苦戦し苦汁をなめたが、その辛酸を弘安の役で活かし、鎌倉軍の奮戦に導き、暴風雨の力もあって、蒙古軍を撃退した。円覚寺を創建し、無学祖元を開山とした。

■北条実時：武蔵国金沢（現横浜市）に私立図書館である金沢文庫を開設した。

■北条高時：元弘の変で後醍醐天皇を隠岐に配流したが、新田義貞の鎌倉攻めで自殺をし、鎌倉幕府は滅亡した。

■栄西：臨済宗の開祖。興禅護国論・喫茶養生記を著した。

■道元：曹洞宗の開祖。「正法眼蔵」を著し、「只管打坐」を説き、越前の永平寺に住んで門下の育成に努めた。

■一遍：踊りながら念仏を唱えさえすれば救われると説き、「踊念仏」によって布教した。

■後醍醐天皇：隠岐からの帰還後、建武の新政を実施したが、武士の不満で失敗。足利尊氏の室町幕府（北朝）に対して吉野（南朝）で正当性を主張し、南北朝時代を招いた。

■足利尊氏：室町幕府の初代将軍。観応の擾乱で弟の足利直義を毒殺した。

■足利義満：室町幕府三代将軍で、南北朝を合一し、日明貿易〔勘合貿易〕を行った。北山に金閣を建て、北山文化を現出。

■夢窓疎石：臨済宗の僧で、足利尊氏が創建した天龍寺の開山。築山の技法を用いて天龍寺庭園、西芳寺庭園を造園した。

■足利義教：くじびき将軍で恐怖政治を行ったが、播磨守護赤松満祐に暗殺された（嘉吉の乱）。

■上杉憲実：関東管領で永享の乱に際して、鎌倉公方足利持氏を破って持氏を自殺に追いやった。足利学校を再興した。

■足利義政：後継者をめぐって応仁の乱が起きたが、将軍職を子の義尚に譲って、自らは京都東山に住み、東山文化を現出した。

■明智光秀：本能寺の変で織田信長を倒したが、1582 年、山崎の戦いで羽柴秀吉に敗れた。

■柴田勝家：織田家筆頭家老。織田信長の継承者の地位をかけて 1583 年、賤ヶ岳で羽柴秀吉に敗れた。

■荻生徂徠：政談

■竹田出雲：仮名手本忠臣蔵・菅原伝授手習鑑・義経千本桜

■恋川春町：金々先生栄花夢

■柳亭種彦：修紫田舎源氏

■大槻玄沢：蘭学階梯

- 黒田如水：隠居前の名は官兵衛。信長、秀吉に仕え、特に竹中半兵衛亡き後、秀吉に天下を取らせた名軍師。
- 徳川綱吉：側用人柳沢吉保を重用し、文治政治を行い、元禄文化が栄える基を作った。生類憐みの令を出した。
- 徳川吉宗：八代将軍となって享保の改革を断行。米将軍と呼ばれた。
- 田沼意次：財政再建のために重商主義をとり、株仲間を公認し、冥加・運上などの税を徴収した。
- 西郷隆盛：薩摩出身。征韓論に敗れ、下野した後、西南戦争で大久保利通の明治政府軍に敗れ、城山で自刃した。
- 大久保利通：薩摩出身。廃藩置県後、岩倉使節団に参加。征韓論に反対し、西南戦争では朋友の西郷隆盛を失った。内務卿として改革を進めていたが、紀尾井坂で暗殺された。
- 伊藤博文：長州出身。明治維新の三傑亡き後、明治政府の最高指導者として初代内閣総理大臣になり、枢密院議長も務めて大日本帝国憲法制定の中心人物でもあった。後に立憲政友会総裁。
- 渋沢栄一：日本初の銀行（第一国立銀行）の設立・運営するなど、日本経済の発展と社会事業に貢献した。
- 岩崎弥太郎：日本の実業家で、三菱財閥の創業者。
- 桂太郎：長州出身。山県有朋の直系。明治の終わり、1902 年から 12 年までに、三度首相になった。
- 小村寿太郎：桂太郎内閣の外務大臣。1902 年、日英同盟を締結し、1905 年、ポーツマス条約に調印した。また、1911 年、新日米通商航海条約に調印し、関税自主権の完全回復を成し遂げた。
- 原敬：平民宰相として初の本格的政党内閣を組閣。1919 年、ヴェルサイユ条約締結、選挙法の改正などを行なった。
- 高橋是清：首相として 1921 年、四カ国条約、1922 年、九カ国条約、ワシントン海軍軍縮条約締結。田中義一内閣の蔵相として金融恐慌を収拾。犬養毅政権の大蔵大臣として積極財政により昭和恐慌を鎮めたが、岡田内閣蔵相在任中に、1936 年、二・二六事件で暗殺された。
- 加藤高明：第二次護憲運動の後、護憲三派内閣の首相になった。1925 年に普通選挙法公布、同時に、治安維持法を立法した。
- 幣原喜重郎：ワシントン会議の際の日本側全権の一人。第 1 次若槻礼次郎（憲政会）内閣においては外務大臣として協調外交を行った。
- 浜口雄幸：民政党総裁。1930 年のロンドン海軍軍縮条約に伴い、統帥権干犯問題を引き起こし、狙撃されて負傷し、総辞職した。
- 佐藤栄作：首相時に非核三原則を打ち出し、首相辞職後、ノーベル平和賞を受賞した。1965 年 11 月から 1970 年 7 月までいざなぎ景気が起こり、日本は高度経済成長を遂げた。小笠原諸島、沖縄の日本返還がなった。

【乱・変・運動】

- 恵美押勝の乱（764 年）：藤原仲麻呂が孝謙上皇の寵臣道鏡を除こうとして乱を起こしたが、近江で敗死した。
- 応天門の変（866 年）：大納言伴善男が左大臣源信の失脚を狙って応天門に放火したが発覚して伊豆に配流された。藤原良房の謀略ともいわれる。
- 後三年の役（1083 年～1087 年）：清原氏一族に内紛が起これと、源義家が介入し、藤原[清原]清衡を助けて内紛を平定した。
- 保元の乱（1156 年）：崇徳上皇と後白河天皇の兄弟喧嘩。崇徳上皇が源為義らの武力を頼みに後白河天皇に挑んだが敗北した。
- 平治の乱（1159 年）：藤原通憲[信西]と結んだ平清盛が、藤原信頼と結んだ源義朝を破った事件。藤原通憲[信西]は源義朝挙兵の際に殺され、藤原信頼・源義朝は敗死した。この後、政権は平氏に移った。
- 壇ノ浦の戦い（1185 年）：壇ノ浦（現下関市）で、源義経らのために平家滅亡。安徳天皇入水。
- 承久の乱（1221 年）：北条義時の鎌倉方が後鳥羽上皇方を破った。後鳥羽上皇は隠岐に配流。
- 文永の役（1274 年）：元軍、九州に来襲。
- 弘安の役（1281 年）：元軍、再度来襲。
- 明德の乱（1391 年）：六分の一殿山名氏清が足利義満に挑発されて挙兵したが敗死した。
- 嘉吉の乱（1441 年）：永享の乱後、播磨守護赤松満祐によって、六代将軍足利義教が暗殺された事件。
- 応仁の乱（1467～1477 年）：将軍足利義政の跡目争いと斯波・畠山両管領家の家督争いなどから起きた内乱。
- 加賀の一向一揆（1488 年～1580 年）：加賀の一向宗徒が守護の富樫政親を敗死させ、1580 年、石山本願寺一揆の降伏まで約 100 年、国人・坊主などの寄合が加賀を自治支配した。
- 長篠合戦（1575 年）：織田信長・徳川家康連合軍が甲斐の武田勝頼軍を鉄砲などで破った。
- 賤ヶ岳の戦い（1583 年）：滋賀県の賤ヶ岳で、羽柴秀吉が柴田勝家を破った。
- 大塩平八郎の乱（1837 年）：元大坂町奉行与力で陽明学者の大塩平八郎が大坂で起こした武力反乱。
- 禁門の変（1864 年）：京都御所の蛤御門近くを抗議のため行進していた長州藩士が、薩摩藩の西郷隆盛の鉄砲隊らのために壊滅的打撃を与えられた。
- 箱館五稜郭の戦い（1868～1869 年）：軍艦奉行榎本武揚や土方歳三を中心とする旧幕府軍が黒田清隆の官軍に敗れた戊辰戦争最後の戦い。
- 佐賀の乱（1874 年）：江藤新平を擁する征韓党が起こした反乱。大久保利通の政府軍により鎮圧された。
- 萩の乱（1876 年）：山口県萩で、前原一誠が不平士族を率いて挙兵したが、政府軍に鎮圧された。
- 西南戦争（1877 年）：西郷隆盛を盟主にする薩摩の不平士族軍が、大久保利通の明治政府軍に敗れた戦い。以後、自由民権運動が反政府運動の中心になる。
- 日露戦争（1904 年）：満州・韓国をめぐる日露両国の戦争。日本海海戦でロシアのバルチック艦隊は殲滅されたが、日本も兵力弾丸共に消耗激しく、米大統領の提言でポーツマスで講和条約が結ばれた。

- 第一次護憲運動（1913 年）：第三次桂太郎内閣に対して、尾崎行雄（政友会）、犬養毅（立憲国民党）らが起こした憲政擁護運動。桂内閣は倒されたが、これを大正政変ともいう。
- 米騒動（1918 年）：寺内正毅内閣の時にシベリア出兵が決定され、その結果米屋が米の売り惜しみをしたので、1918 年、越中富山の女一揆に端を発して、大衆が米屋を襲う事件が全国に広がった。
- 第二次護憲運動（1924 年）：護憲三派が超然内閣である清浦圭吾内閣を倒した。総選挙後、護憲三派による加藤高明（憲政会）内閣が成立した。
- 満州事変：第二次若槻礼次郎内閣時の 1931 年の柳条湖事件を契機に政府の不拡大方針を無視して関東軍参謀石原莞爾中佐が満州全体を制圧した事件。
- 5・15 事件（1932 年）：関東軍により一度は満州国が建国されたが、犬養毅内閣がこれを認めなかったのも、海軍青年将校たちにより犬養毅が暗殺された事件。
- 2・26 事件（1936 年）：大蔵大臣高橋是清、内大臣斎藤実、陸軍教育總監渡辺錠太郎らが、陸軍皇道派青年将校たちによって暗殺された事件。
- 盧溝橋事件（1937 年）：1937 年 7 月 7 日に北京西郊外の盧溝橋で起きた日本軍と中国国民革命軍との銃撃事件。日中戦争〔日華事変〕へとつながっていった。

【重要地名】（地図問題対処用）

- いわき市：平安時代末期の文化、院政期の文化に属する白水阿弥陀堂がある。
- 横浜市：北条実時によって設立された図書館金沢文庫がある。
- 足利市：「坂東の大学」と呼ばれた足利学校は、上杉憲実が再興した。
- 南島原市：1637 年、天草四郎時貞に率いられて島原の乱が起きたが、一揆勢が籠城した原城址は長崎県の島原半島の南島原市にある。
- 出島：1641 年、オランダ商館は平戸から出島へ移されて鎖国は完成したが、出島は長崎県長崎市にある。
- 根室：1792 年、ロシアのラックスマンが大黒屋光太夫などの漂流民を伴って根室に来航した。
- 萩：吉田松陰が教えてから有名になった松下村塾（私塾）は、山口県北部、日本海に面した萩にあった。1876 年、前原一誠が萩の乱を起こした。
- 長崎：シーボルトが開いた医学塾である鳴滝塾は、現在の長崎市にあった。
- 横須賀市：その東部、浦賀は、ペリー率いる 4 隻の黒船が来航したことで有名である。
- 大阪：緒方洪庵が開いた適塾は、現在の大阪市にあった。建物は今も残っている。
- 箱館：戊辰戦争の最後の戦い五稜郭の戦いが行われた。
- 日比谷：1905 年のポーツマス条約において、賠償金を取ることができなかったのも日比谷公園に集まった暴徒たちが交番を焼打ちにし、新聞社などを襲った。